## 馬術・関東学生選手権・関東学生女子選手権

# 男子・広瀬、女子・吉田が優勝

## 男女8人が全日本学生選手権に出場

関東学生馬術選手権・関東学生女子選手権が9月25日から27日まで、JRA馬事公苑で行われた。男子の広瀬祥吾（経済1・浦河高）、女子の吉田知子（商2・愛知県立五条高）がともに1位となり、アベック優勝を果たした。

男子では菅谷泰一（経済2・浦和東高）が、女子では秋山桜子（経済3・横浜旭陵高）が3位となるなど好成績を残し、男女合わせて8人が全日本学生選手権（12月5、6日、同会場）の出場権を獲得した。

▲　2大会で活躍した広瀬

### 全日本総合トレーニング競技部門で健闘

全日本総合馬術大会が9月11日、山梨県馬術競技場で行われた。馬場馬術、クロスカントリー、障害飛越の3競技総合で競うトレーニング競技部門に1、2年次主体で出場。吉田・ナイトコマンダー号が2位、広瀬・エンドーペロー号が4位、新井駿介（経営1・小松原高）・ゴールドスター号が6位と健闘した。

日韓学生馬術大会（9月1日、福井馬術競技場）は馬場馬術に霤林舞（商3・市立前橋高）、障害飛越に菅谷が出場し、チームに貢献した。（久田照喬・商3＝写真も）

▲　強烈なバックハンドを打つ徳増

## 卓球・秋季関東学生リーグ戦

# 徳増に「特別賞」

## 4年間の好成績を評価

男子3位
女子5位

秋季関東学生卓球リーグ戦が9月15日から23日まで、代々木第二体育館で行われ、男子は春季に続き3位、女子は5位で大会を終えた。

個人では、優秀選手賞に男子の徳増信弥（経済4・杜若高）と女子の高瑜瑶（商3・秀光中等教育学校）が、敢闘賞に高がそれぞれ選出された。また、徳増にはリーグ戦4年間の好成績をたたえ、特別賞も授与された。

優勝を期待された男子は現在の関東2強である明大、早大との直接対決で敗れ、後塵を拝した。一方、3連敗と最悪の立ち上がりとなった女子はその後、粘り強さを発揮。春季から順位を一つ上げた。

男子の加藤充生樹主将（商4・日大三島高）は「悔しいが、2季連続の3位は力が付いてきたとの表れ。大学最後の団体戦で4年次生が頑張ってくれた」、女子の小林春菜主将（文4・新潟青陵高）は「春より前向きに戦えるようになった。後輩たちには上位を目指してほしい」とコメントを残した。

## 水泳・日本学生選手権〈水球〉

# 4位入賞で3年連続のシード権

日本学生選手権水泳競技大会（水球競技）が9月3日から6日まで、相模原市立総合水泳場ほかで行われ、専大は4位入賞、3年連続で来年度のシード権を獲得した。

1回戦はシードで2回戦から出場。明大と対戦し、堂下直樹（経営4・鹿児島南高）、堀脇千尋（経営3・鹿児島南高）、根井亮輔（経営2・秀明英光高）らが活躍し、22―7で快勝した。続く準々決勝で仙台大に12―7で勝利したが、準決勝で昨年度王者の日体大に4―13で、3位決定戦で日大に13―15で敗れた。

新玉義明主将（法4・鳥取中央育英高）は「ベスト4に終わり悔しいが、チームはまとまっており、力を出し切ることができた」と話した。

また、日本選手権が9月25日から27日まで、横浜国際プールで行われ、1回戦で全日体大と対戦し、6―21で敗れた。（庄司　亮介・文3）

## 日本学生選手権

### 池永が200㍍自由形7位入賞

日本学生選手権水泳競技大会が9月4日から6日まで、アクアドームくまもとで行われ、池永早弥佳（法4・東京立正高）が女子200㍍自由形決勝で2分03秒30のタイムで7位入賞を果たした。

同400㍍では岩永美里（経営1・八王子高）がB決勝（予選9～16位が出場）を4分15秒66で泳ぎ1位。同じくB決勝に進んだ400㍍フリーリレー、同800㍍でも4位に食い込み、大学対抗では女子団体で14位だった。（菅原　亜美・文2）

## 全日本大学駅伝

# ″伊勢路″に挑む

## 4大会ぶり17回目

### 気合十分　5人が29分台（1万㍍）

大学日本一を目指し、熱田神宮～伊勢神宮間の8区間106・8キロを″襷″でつなぐ全日本大学駅伝対校選手権が11月1日に開催される。専大は6月の予選会を4位で突破し、4大会ぶり17回目となる″伊勢路″に挑む。

夏合宿後の9月26日に行われた日体大長距離競技会では、五ヶ谷宏司主将（経営4・専大松戸高）、酒井潤一（経営4・久里浜高）、井上直紀（商4・報徳学園高）、塩原大（経済3・松商学園高）、安島慎吾（経営2・勿来工高）の5人が1万㍍で29分台を記録し、順調な仕上がりを見せた。加藤覚監督は「4大会ぶりの出場ですが、上位を目指して頑張ります」と話した。

10月17日には東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会が東京都立川市の国営昭和記念公園で行われる。最終目標である″箱根駅伝″に向け、2大会での好走が期待される。

▲　五ヶ谷主将を中心に上位進出を目指す

## ゴルフ・関東大学秋季Aブロック対抗戦

# 男子4位で信夫杯の出場権

男子の関東大学ゴルフ秋季Aブロック対抗戦が9月21、22日、茨城ロイヤルカントリー倶楽部で行われ、専大は4位に入賞し、信夫杯争奪日本大学対抗戦（10月29、30日、千葉カントリークラブ）の出場権を獲得した。

2日間36ホールのストロークプレー。初日、宮里政志（文4・鹿島学園高）がアウト35、イン33の68でプレーするも、5位に終わる。2日目は桐谷龍平主将（商4・広島県瀬戸内高）を中心に安定したゴルフを見せた。結果、2日間で523、504のトータル1027でホールアウト。桐谷主将は信夫杯の目標を「最低でもトップ3」と意気込みを話した。

女子は秋季Aブロック対抗戦で6位だった。（佐山　竜太・経済3）

## フェンシング・関東学生新人戦〈フルーレ団体〉

# 女子準優勝、男子は3位

関東学生フェンシング新人戦が9月29、30の両日、駒沢屋内球技場で行われた。フルーレ団体で女子が決勝で早大に敗れ惜しくも準優勝、男子は3位となった。個人では竹田悠里（経済1・米沢東高）が女子サーブルで準優勝、同じく小田芽維（商1・高松北高）が5位、男子サーブルで谷口舜太郎（法1・鹿児島南高）が3位入賞と健闘した。（森住　綾・文2）

（馬場　雄也・ネット情報3＝写真も）

## トキめき新潟国体

# 専大選手が活躍

トキめき新潟国体が9月26日から10月6日まで（水泳競技は9月9～13日）開催された。本学からは42人（10月14日現在判明分）が選出され、フェンシングの成年男子エペ団体で阪野弘和（経済4・武生商高＝福井県）が準優勝に貢献した。

また、ゴルフの成年男子個人で桐谷龍平（鳥取県）が個人4位。レスリングの成年男子ではグレコ120kg級で平川臣一（商4・三井高＝福岡県）と、フリー120kg級で荒木田進謙（経済4・光星学院高＝青森県）がともにベスト4入りし、水泳（競泳）の成年女子400㍍自由形で岩永美里（経営1・八王子高＝東京都）が6位に入賞した。

### 専大松戸高・戸邉選手　走り高跳び優勝

#### 20年ぶり記録更新

10月5日、同国体の少年男子共通走り高跳びで、専大松戸高校3年の戸邉直人選手が高校記録を20年ぶりに1㌢更新する、2㍍23㌢で優勝した。

## 柔道・全日本学生体重別選手権

### 内藤ベスト8　講道館杯出場へ

全日本学生柔道体重別選手権が10月11、12日、日本武道館で行われ、90kg級で内藤雄大（商3・田村高）がベスト8入りし、講道館杯全日本体重別選手権（11月14、15日、千葉ポートアリーナ）の出場権を手にした＝写真。

なお、内藤は東京学生体重別選手権（9月6日、日本武道館）で3位となり、全日本学生の出場権を得ていた。（植木　泰士・法2）

## 全日本学生相撲個人体重別選手権

### 小池がベスト8

全日本学生相撲個人体重別選手権が9月20日、川崎市富士見公園相撲場で行われ、小池辰彦（経営3・水戸農高）がベスト8に入る活躍を見せた。

小池は「自分の理想とする、前にどんどん押していく型ができた。ベスト4に入る自信があっただけに結果には満足していない。インカレでは個人、団体ともに上位を目指したい」と語った。（御嶽　直生・法2）

## 第37回森口メモリアルゴルフ大会

### 優勝は谷田部輝雄さん（昭44商）

故・森口忠造総長の遺徳を偲ぶ「第37回森口メモリアルゴルフ大会」が9月15日、川崎国際生田緑地ゴルフ場で行われた。大学関係者、体育会出身の卒業生ら82人が参加し、熱戦を繰り広げた。

今年度はラグビー部OBの谷田部輝雄さん（昭44商）が優勝に輝いた。

## Sports カレンダー

◇アイスホッケー部
▽関東大学リーグ戦
9月22日～11月22日（ダイドードリンコアイスアリーナほか）

◇サッカー部
▽関東大学リーグ戦
10月24日　対慶大（埼玉スタジアム）
11月3日　対法大（駒沢陸上競技場）
11月21日　対東海大（NACK5スタジアム）

◇バスケットボール部
▽関東大学リーグ戦（男子）
10月24・25日　対青学大（青山学院大学体育館）
10月31日、11月1日　対日大（代々木第二体育館）

◇ラグビー部
▽関東大学リーグ戦（2部）
11月7日　対埼玉工大（熊谷Bグラウンド）
11月14日　対山梨学院大（日本大学グラウンド）
11月29日　対立正大（熊谷Bグラウンド）